

船津秀樹名誉教授 略歴

(生年月日)

1957年 3月13日

(学 歴)

1979年 3月 北海道大学経済学部経済学科卒業
1982年 8月 サザンメソジスト大学大学院修士課程修了
1983年 3月 北海道大学大学院経済学研究科修士課程修了
1984年 8月 サザンメソジスト大学大学院博士課程修了

(学 位)

1982年 8月 Master of Arts (Economics) Southern Methodist University
1983年 3月 修士(経済学) 北海道大学
1984年 8月 Doctor of Philosophy (Economics) Southern Methodist University

(職 歴)

1981年 8月～1984年 5月 Teaching Assistant Southern Methodist University
1984年 7月～1986年 9月 小樽商科大学商学部講師
1986年10月～1996年 9月 小樽商科大学商学部助教授
1996年10月～2019年 6月 小樽商科大学商学部教授

(役 職)

1998年 2月～2000年 1月 小樽商科大学国際交流センター長
2001年 4月～2002年 3月 小樽商科大学商学部経済学科長
2014年 4月～2016年 3月 小樽商科大学学長特別補佐
2014年 4月～2018年 3月 小樽商科大学教育研究評議会評議員

2016年4月～2018年3月 小樽商科大学グローバル戦略推進センター
グローバル教育部門長

(名 誉)

2000年8月 アメリカ合衆国サウスダコタ州名誉市民

2015年10月 独立行政法人日本学術振興会科学研究費審査委員表彰

2019年7月 小樽商科大学名誉教授

船津秀樹名誉教授 研究業績

(論 文)

1. “Price Index Consciousness of Workers and Stagflation”, 小樽商科大学『商学討究』35巻4号, 1985年。
2. 「輸出保険の理論」, 日本国際経済学会『国際経済』37巻, 1986年。
3. “Export Credit Insurance and Moral Hazard”, 小樽商科大学『商学討究』36巻3号, 1986年。
4. 「最低賃金と二部門分析」, 小樽商科大学『商学討究』36巻4号, 1986年。
5. “Export Credit Insurance”, *Journal of Risk and Insurance Vol.53 No4*, American Risk and Insurance Association, 1986.
6. 「為替リスクと輸出企業行動」, 小樽商科大学『商学討究』37巻1・2・3号, 1987年。
7. “A Note on the Stability of the Harris-Todaro model with Capital Mobility”, *Economica Vol.55*, London School of Economics and Political Science, 1988.
8. “Urban Unemployment in a Monetary Economy”, 小樽商科大学『商学討究』39巻1号, 1988年。
9. “Export Credit Insurance: Author’s Reply”, *Journal of Risk and Insurance Vol.55 No.4*, American Risk and Insurance Association, 1988.
10. “Factor Price Rigidities and Comparative”, 小樽商科大学『商学討究』42巻2・3号, 1991年。
11. “Hedging, Speculation, Market Research as Self Protection”, 『商学討究』42巻4号, 1992年。
12. 「フリー・トレード・ゾーン」, 小樽商科大学『商学討究』45巻1号, 1994年。
13. 「フリー・トレード・ゾーンと都市における失業」, 北海道大学『経済学研究』45巻1号, 1995年。
14. “University Mobility and Human Resource Development in Asia and the

- Pacific”, Discussion Paper Series No.4, APEC Study Center, Otaru University of Commerce, supported by IDE-JETRO, 1997.
15. “Tariff and Monopoly as Source of Comparative Advantage”, Discussion Paper Series No.11, APEC Study Center, Otaru University of Commerce, 1998.
 16. 「地域における留学生交流とインターンシップ」, 日本学生支援機構『大学と学生』401号, 1998年。
 17. 「UCTSを利用した大学間交流」, 日本学生支援機構『留学交流』12巻8号, 2000年。
 18. “International Education and Economic Cooperation in Asia and the Pacific”, 小樽商科大学『商学討究』51巻2・3号, 2001年1月。
 19. 『平和な自由貿易福祉社会—もう一つの日本経済論』, 小樽商科大学『商学討究』51巻4号, 2002年3月。
 20. “Some Problems in the Implementation Process of UCTS: the Case of Otaru University of Commerce”, 小樽商科大学『商学討究』52巻4号, 2002年。
 21. “The Internet as a Medium for Facilitating APEC Business Education”, co-author with Adrian Sallis, 小樽商科大学『商学討究』53巻4号, 2003年。
 22. 「海外留学に関する意思決定問題」堀田泰司との共著, 小樽商科大学『商学討究』55巻1号, 2004年。
 23. 「留学に対する学生の意識と日本の留学生政策」, 広島大学『留学生教育』9巻, 2005年。
 24. 「東海自由貿易地域の可能性について」, 小樽商科大学『商学討究』55巻4号, 2005年。
 25. 「地域経済統合の進展と高等教育サービスの国際貿易に関する研究」, 小樽商科大学『商学討究』56巻2・3号, 2005年。
 26. “A Case of Factor Price Equalization under Price Discrimination”, co-author with Laixun Zhao, *Economic Journal of Hokkaido University Vol.35*, 2006.
 27. 「地域経済統合の進展と学生の国際間移動」, 北海道大学『経済学研究』56巻3号, 2007年。

28. 「国際ビジネスと人的資本の国際間移動」, 小樽商科大学『商学討究』58巻4号, 2008年。
29. 「中札内村を支える農業と北海道総合開発」, 関西学院大学産研叢書32, 2009年。
30. 「海外留学の動機作り：ブリッジ・プログラムの重要性」, 日本学生支援機構『留学交流』14巻, 2012年。
31. 「グローバル・アグリビジネス―ジャガイモの場合―」, 小樽商科大学『商学討究』69巻2・3号, 2018年。